

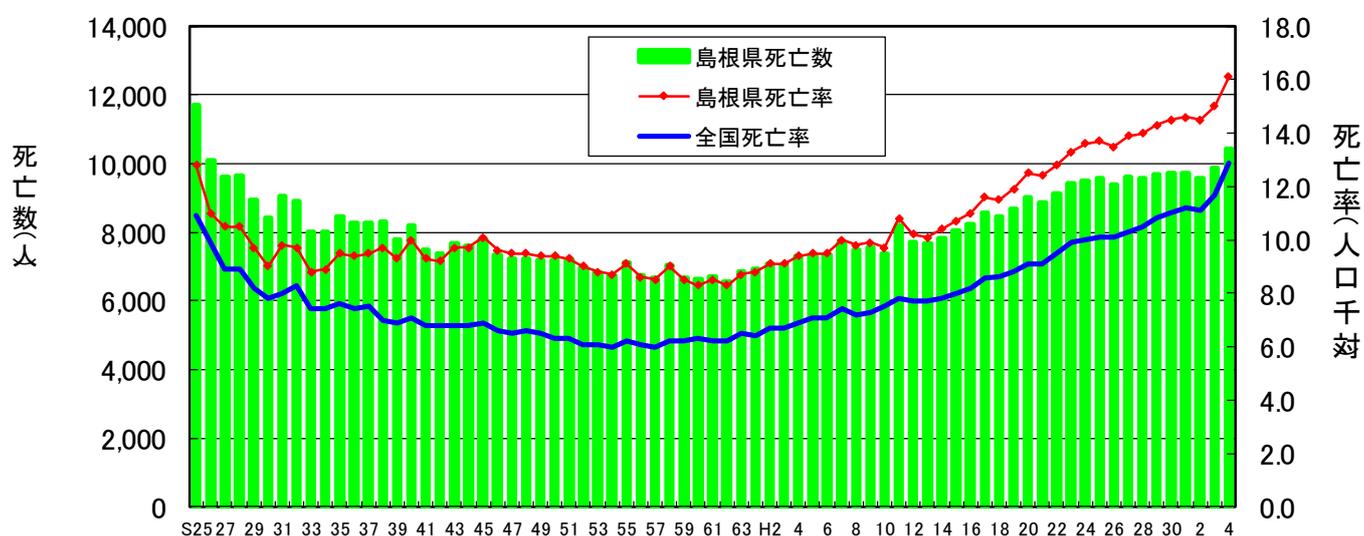
### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

令和4年の死亡数は10,434人で、前年の9,851人より583人増加し、死亡率（人口千対）は16.1で、前年の15.0から1.1増加した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下したが昭和30年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和63年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、その後も上昇傾向を続けている（図4）。

図4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率（人口10万対）をみると、0～19歳、25～29歳、40～44歳、60歳～80歳以上の各階級が前年より増加し、20～24歳、30歳代、45～49歳、50歳代の各階級が前年より減少した。特に80歳代の増加が大きい。

死亡率性比（男性の死亡率／女性の死亡率×100）を年齢階級別にみると、25歳以上の各階級において100以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している（表4）。

表4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	令和4年	令和3年	対前年増減	令和4年	令和3年	対前年増減	
総数	10,434	9,851	583	1,610.2	1,504.0	106.2	100.2
0～4	5	5	0	21.7	21.7	0.0	22.9
5～9	1	0	1	3.7	0.0	3.7	0.0
10～14	4	3	1	13.8	10.3	3.5	93.3
15～19	12	5	7	40.0	16.7	23.3	43.8
20～24	10	11	△ 1	41.7	45.8	△ 4.1	-
25～29	14	6	8	56.0	24.0	32.0	166.1
30～34	12	16	△ 4	42.9	55.2	△ 12.3	464.4
35～39	14	18	△ 4	42.4	52.9	△ 10.5	235.3
40～44	31	30	1	81.6	76.9	4.7	198.9
45～49	69	71	△ 2	156.8	157.8	△ 1.0	240.3
50～54	97	95	2	236.6	237.5	△ 0.9	193.5
55～59	107	118	△ 11	289.2	318.9	△ 29.7	214.7
60～64	240	237	3	571.4	551.2	20.2	215.8
65～69	409	415	△ 6	889.1	864.6	24.5	282.2
70～74	828	829	△ 1	1,427.6	1,381.7	45.9	253.7
75～79	948	838	110	2,370.0	2,264.9	105.1	258.9
80～	7,633	7,153	480	8,980.0	8,515.5	464.5	132.6

注1) 死亡率性比=男性の死亡率/女性の死亡率×100

2) 令和3年は年齢不詳が1人いるため、死亡総数と年齢階級別死亡数の合計は一致しない

## (2) 死因

### ①死因順位

令和4年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,526人（人口10万対死亡率389.8）、第2位は心疾患で1,446人（223.1）、第3位は老衰で1,349人（208.2）となっている（表5）。なお、全国の死因は、第1位が悪性新生物、第2位が心疾患、第3位が老衰となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物による死亡率は上昇を続け、昭和59年以降、死亡原因の第1位となった。心疾患の死亡率は、平成12年に死亡原因第2位となって以降上昇傾向にある。老衰の死亡率は、ほぼ横ばいで推移していたが、平成19年以降上昇し続けている。脳血管疾患の死亡率は、平成12年以降概ね横ばいで推移していたが、近年下降傾向にある。（図5）。

また、死因別の死亡率を都道府県別に比較した場合、本県は、血管性及び詳細不明の認知症（全国第3位）、悪性新生物（全国第4位）、アルツハイマー病（全国第5位）の死亡率が高い水準を示している。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

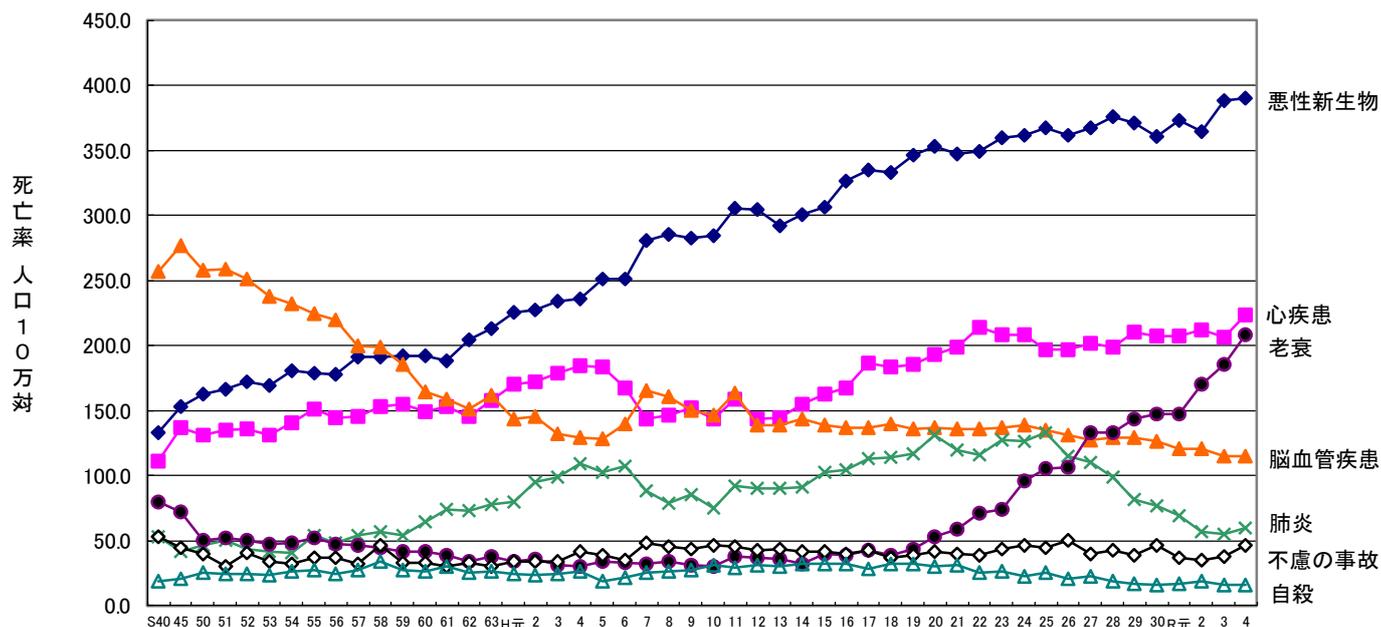


表5 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	令和4年									令和3年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物<腫瘍>	1	2,526	389.8	1	1,444	459.9	1	1,082	324.0	1	2,544	388.4
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,446	223.1	2	639	203.5	3	807	241.6	2	1,351	206.3
老 衰	3	1,349	208.2	3	353	112.4	2	996	298.2	3	1,217	185.8
脳血管疾患	4	745	115.0	4	331	105.4	4	414	124.0	4	749	114.4
誤嚥性肺炎	5	399	61.6	5	242	77.1	7	157	47.0	5	375	57.3
肺炎	6	384	59.3	6	228	72.6	8	156	46.7	6	356	54.4
不慮の事故	7	298	46.0	7	167	53.2	9	131	39.2	7	247	37.7
アルツハイマー病	8	266	41.0	9	95	30.3	5	171	51.2	8	235	35.9
血管性及び詳細不明の認知症	9	243	37.5	12	77	24.5	6	166	49.7	9	234	35.7
腎 不 全	10	216	33.3	8	113	36.0	10	103	30.8	10	181	27.6

注1) 令和3年は確定数

2) 男性の10位は「間質性肺疾患」で死亡数87 死亡率27.7である。

## ②年齢別死因

令和4年の死因を性・年齢（5歳階級）別構成割合から見ると、自殺の占める割合は女性が15～19歳、30～34歳、男性においては20～24歳、30～34歳が高くなっている。また死因順位第1位の悪性新生物の占める割合は、男性は概ね30代後半から増加し、70～74歳がピークとなっている。女性は5～9歳と35～39歳が10割、50代後半から70代前半にかけては5割以上を占めている（図6）。

図6-1 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（男性）

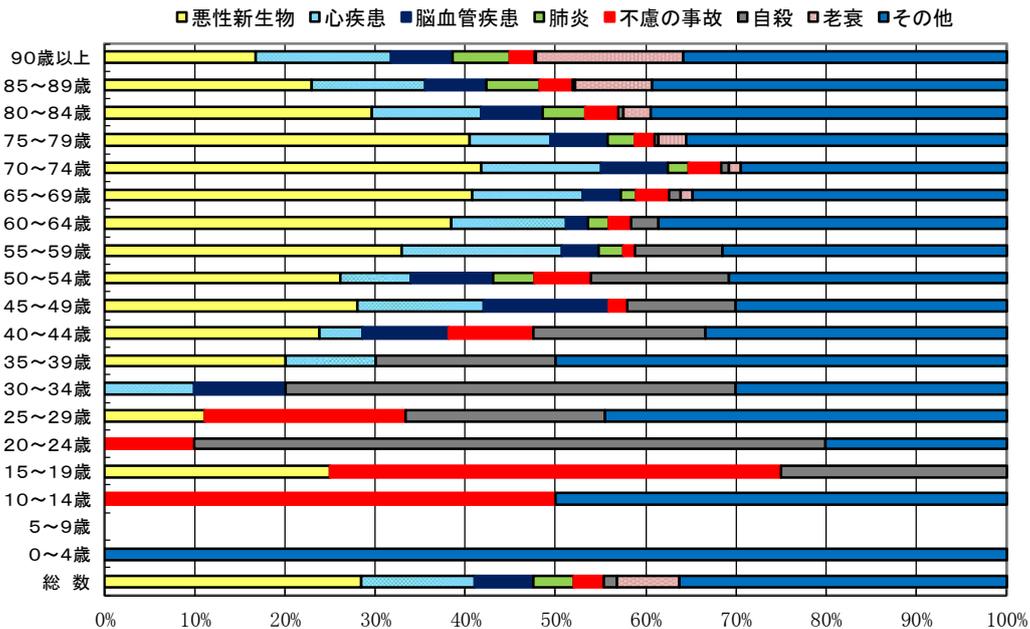
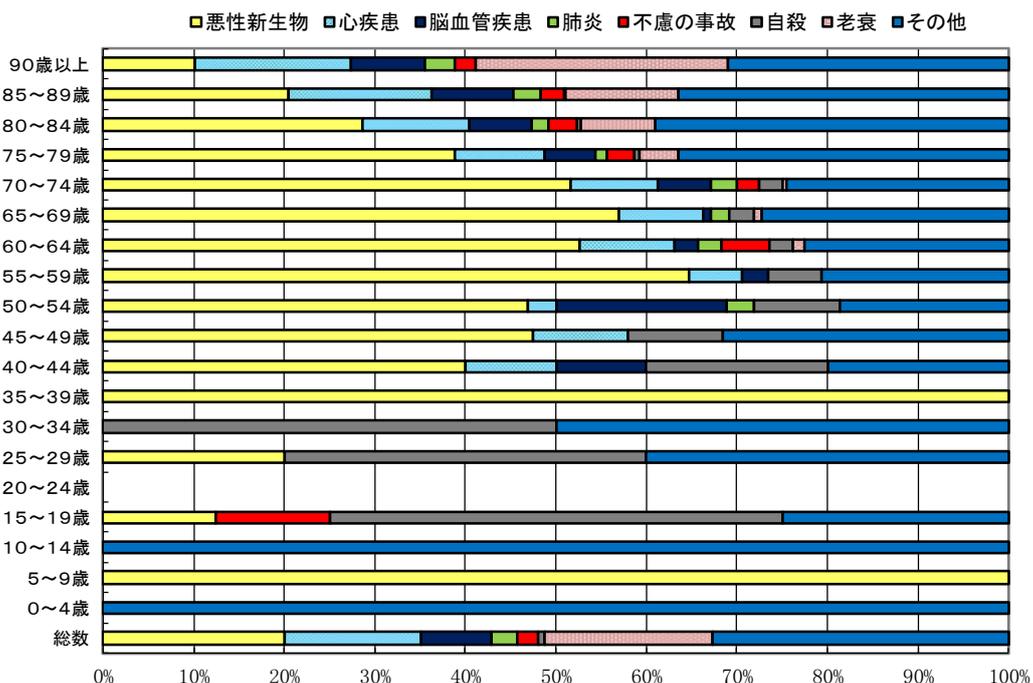


図6-2 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（女性）



### ③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率（人口10万対）を主な部位別に見ると、男性では大腸が上昇し、令和4年の死亡数は183人、死亡率は58.3となっている。女性では胃、肺、子宮が上昇し、令和4年の死亡数は順に142人、127人、50人で、死亡率は順に42.5、38.0、15.0となっている。（表6、図7）。

**表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移**

死亡数																					
性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4
男性	胃	250	314	293	273	263	267	230	227	242	230	218	237	216	208	207	197	176	164	191	<b>189</b>
	肺	19	61	82	169	250	299	363	301	352	305	347	336	363	319	305	328	361	308	359	<b>358</b>
	肝	54	55	65	121	206	208	191	173	155	159	143	159	137	141	122	115	129	133	113	<b>102</b>
	膵	8	23	26	54	84	92	89	113	100	101	114	119	119	137	118	107	112	104	128	<b>122</b>
	大腸	23	42	48	79	151	163	164	168	177	192	157	175	171	178	158	148	174	142	168	<b>183</b>
女性	胃	165	179	202	149	159	137	152	137	137	146	149	134	116	109	130	115	122	111	118	<b>142</b>
	肺	8	18	32	52	109	98	107	123	101	137	112	126	118	128	139	129	124	134	118	<b>127</b>
	肝	37	33	35	55	89	99	90	88	85	84	103	80	76	90	88	64	57	74	57	<b>55</b>
	膵	6	17	24	40	68	89	92	99	128	96	101	92	115	133	121	117	132	127	155	<b>134</b>
	乳房	18	16	25	28	38	43	54	65	56	62	63	67	72	78	55	73	87	59	71	<b>57</b>
	子宮	93	71	57	40	38	25	21	36	30	30	34	35	29	26	33	38	35	27	31	<b>50</b>
	大腸	30	44	48	85	123	125	150	140	154	153	165	150	160	159	177	173	169	164	173	<b>168</b>
死亡率																					
性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4
男性	胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	73.7	65.2	66.5	71.4	68.2	65.3	71.4	65.3	63.2	63.5	60.8	54.8	51.3	60.3	<b>60.2</b>
	肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	82.6	102.8	88.2	103.8	90.5	103.9	101.2	109.7	97.0	93.6	101.2	112.5	96.3	113.2	<b>114.0</b>
	肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	57.4	54.1	50.7	45.7	47.2	42.8	47.9	41.4	42.9	37.4	35.5	40.2	41.6	35.6	<b>32.5</b>
	膵	1.8	5.8	7.1	14.2	22.9	25.4	25.2	33.1	29.5	30.0	34.1	35.8	36.0	41.6	36.2	33.0	34.9	32.5	40.4	<b>38.9</b>
	大腸	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	45.0	46.5	49.2	52.2	57.0	47.0	52.7	51.7	54.1	48.5	45.7	54.2	44.4	53.0	<b>58.3</b>
女性	胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	34.7	39.3	36.9	37.1	39.9	41.0	37.2	32.4	30.7	37.0	33.0	35.5	32.4	34.9	<b>42.5</b>
	肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	24.8	27.6	33.1	27.4	37.4	30.9	35.0	32.9	36.1	39.6	37.1	36.0	39.2	34.9	<b>38.0</b>
	肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	25.1	23.3	23.7	23.0	23.0	28.4	22.2	21.2	25.4	25.1	18.4	16.6	21.6	16.9	<b>16.5</b>
	膵	1.3	4.0	6.0	9.6	17.0	22.5	23.8	26.7	34.7	26.2	27.8	25.6	32.1	37.5	34.5	33.6	38.4	37.1	45.9	<b>40.1</b>
	乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	10.9	14.0	17.5	15.2	16.9	17.4	18.6	20.1	22.0	15.7	21.0	25.3	17.2	21.0	<b>17.1</b>
	子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.3	5.4	9.7	8.1	8.2	9.4	9.7	8.1	7.3	9.4	10.9	10.2	7.9	9.2	<b>15.0</b>
	大腸	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	31.7	38.8	37.7	41.7	41.8	45.5	41.7	44.7	44.8	50.4	49.7	49.1	47.9	51.2	<b>50.3</b>

注：大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。  
ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（男性）

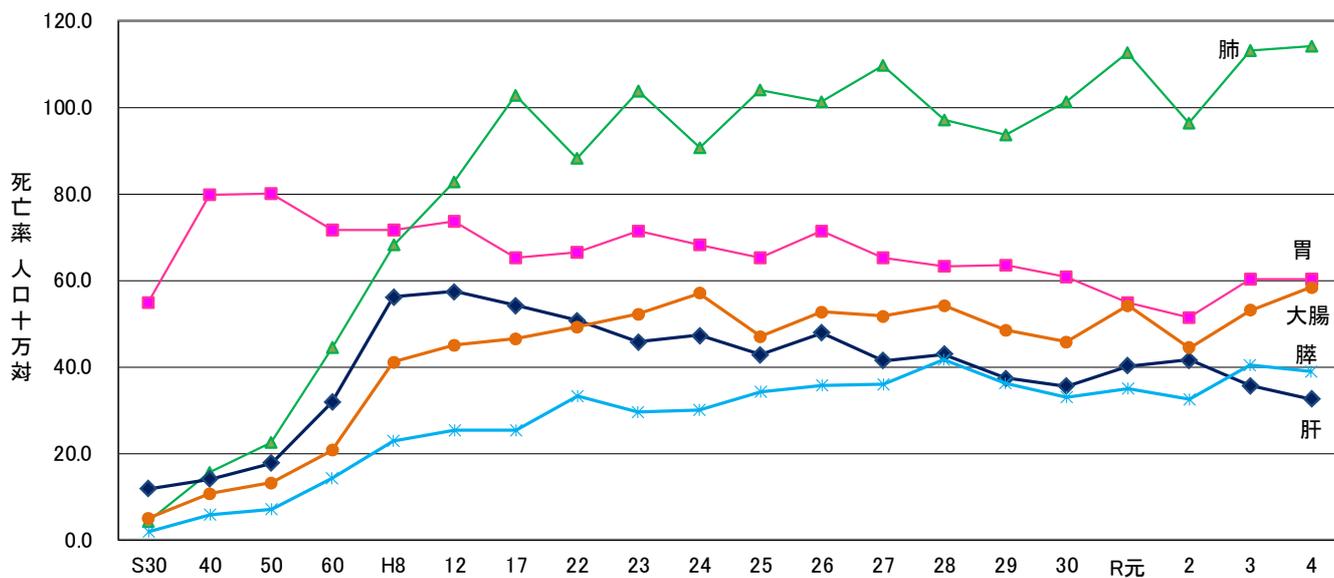


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（女性）

